

株主の皆様へ



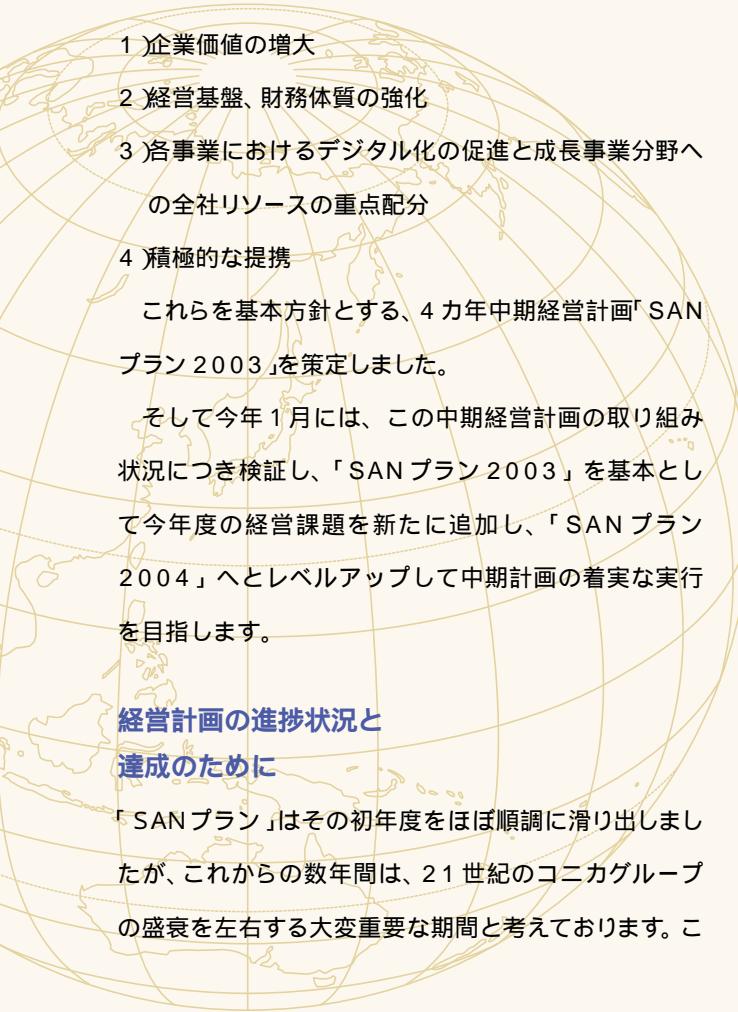
2001年4月よりコニカは新しい経営陣による体制がスタート。加速するデジタル化の中でシンプル、スピード、フレキシビリティを武器に「見えるコニカ」を目指します。

新社長としての重要課題

歴史的な転換点でもある新世紀の始まりの本年4月から社長として業務執行に携わることとなり、その責任の大きさを感じるとともに、大きなやりがいと希望を抱いております。

現在展開している全社的な方針や経営計画につきましては、前社長が築いてまいりました従来の路線を堅持し、引き続き企業価値の向上のために努力してまいる所存です。

当社では平成11年度は、キャッシュフロー重視の経営、選択と集中という方針のもとに事業を峻別し、営業利益の改善を図り、業績のV字回復を図りました。この成果とともに、21世紀の変革に対応するために平成12年1月には経営計画のキーワードをSPEED、ALLIANCE(提携) NETWORKとして、

- 
- 1) 企業価値の増大
 - 2) 経営基盤、財務体質の強化
 - 3) 各事業におけるデジタル化の促進と成長事業分野への全社リソースの重点配分
 - 4) 積極的な提携
- これらを基本方針とする、「SAN プラン 2003」を策定しました。

そして今年 1 月には、この中期経営計画の取り組み状況につき検証し、「SAN プラン 2003」を基本として今年度の経営課題を新たに追加し、「SAN プラン 2004」へとレベルアップして中期計画の着実な実行を目指します。

経営計画の進捗状況と達成のために

「SAN プラン」はその初年度をほぼ順調に滑り出しましたが、これからの数年間は、21 世紀のコニカグループの盛衰を左右する大変重要な期間と考えてあります。こ

の中期計画を羅針盤として経営の舵取りをしていくわけですが、私はこの達成のための原動力は人とその意識にあると考えます。

大きな変革のうねりの中にあって、コニカグループをより一層活力のある企業集団にしていこうと考えています。

一人ひとりが、ファイティングスピリットをもち、現状にあまんじることなくナンバーワンになることに強い執念を抱く闘志みなぎる集団を目指します。

そのために必要な意識は「シンプル、スピード、フレキシビリティー」であります。言動、しくみ、組織などすべての基本は「シンプル」がベストと考えます。すさまじい勢いで顧客や市場が変化するなか、競争に勝つための最大の武器は「スピード」です。めまぐるしい変化に対応するために必要なもの、それは自らをも変革する「フレキシビリティー」です。つねにこれらを意識し、戦う姿勢を全面に出していくば必ず大きな展望が開けていくものと確信しています。



「見えるコニカ」

また、前社長が取り組んでまいりました、経営の透明度を高めるという方針をさらに進めます。目指す姿は、「見えるコニカ」です。株主の皆様をはじめ、顧客、地域住民、取引先、従業員など当社に関わるすべての人にとって、オープンでフェアな企業、また透明度の高い企業にいきます。

新社長として、数々の目標の達成に全力で邁進し、イメージングソリューションカンパニーとしてのコニカを確立してまいります。株主の皆様におかれましては、尚一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成13年6月

代表取締役社長
岩居文雄

新社長プロフィール

- 1963年 入社
- 1983年 事務機事業部八王子工場
製造部長
- 1988年 カメラ事業部長
- 1991年 情報機器事業本部
機器販売事業部長
- 1992年 取締役情報機器事業本部長
兼同本部機器販売事業部長
- 1996年 常務取締役情報機器事業本部長
兼同本部機器販売事業部長
- 1999年 専務取締役
- 2000年 代表取締役専務
コンシュマーイメージングカンパニー /
オフィスドキュメントカンパニー / カメラ &
デジタルフォト事業グループ / IJT 事業推
進センター担当兼執行役員コンシュマー
イメージングカンパニープレジデント
- 2001年 代表取締役社長

